



美濃はつらつ通信



金平糖のような可愛い果球がつくコノテガシワ (旧美濃小校庭)

世帯数	159世帯
人口	349人
男	161人
女	188人
高齢化率	50.1%
	(6月末現在)

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

「市長と語り合う会」で 地区民から活発な意見

益田市の広聴事業の一つである、市民から広く意見を求める「市長と語り合う会」が7月24日、地区民21人が参加して美濃地区振興センターで行われました。

はじめに山本浩章市長が今年度の施政方針である3本の柱(企業との連携・空港利用拡大・東京五輪キャンプ誘致)について説明。続いて参加者から平成32年度に供用開始予定の拠点整備について「災害時に避難場所がないので、先送りにならないよう予定通りつくってほしい」「城九郎から黒周に抜ける市道にかぶさっている樹木を伐採してほしい」「益田市に魅力を感じる若者が少ない。キラッと光る魅力づくりが必要では」「高齢化で河川等の清掃が困



地区民から生活に密着した意見や要望が出された。難。若い人に日当が払えるような予算づけをしてほしい」などのほか、道の駅整備基本構想に対する質問など、意見や要望が出されました。

山本市長は拠点整備について「平成32年度供用開始するために、予定通り準備を進めている。今年度は用地買収を円滑に進めていきたい」と明言。そのほか地区民から出された意見や要望に、山本市長は一つ一つ丁寧に答えました。

看護学生による健康教室



島大の看護学生3人による高血圧と病気についての話

第1回健康相談が6月28日、美濃地区振興センターで開催され、地区の人たち17人が参加しました。血圧測定や尿検査を受けた後、美濃地区担当の健康増進課スタッフ・小玉千絵主任から益田市の健康情報などについて説明と指導が行われました。

ついで島根大学の看護学生3人による「血圧について」の話があり、高血圧によって引き起こされる病気や、薄味で料理を美味しく食べる調理方法などを指導。そのあと食推協(中尾澄美枝理事)による柏餅のおやつタイムを挟んで、健康増進課の可部純子主任が熱中症の予防法について話しました。



柏餅でほっと一息

“つろうて子育て”推進事業 中西小でサツマイモの 畝作りと苗植え作業

学校と家庭、地域が子育てのパートナーとして連携して教育活動を行なう事業の一環として



サツマイモの畝作りと苗植えが6月16日と19日の2日間、中西小学校近くの畑で行わ



ました。美濃地区から両日で地区民5人が参加。小学生たちは、地域の人たちから、植え方を教わりながら、秋の収穫を楽しみに作業に汗を流していました。

藩政時代をしのぶハゼノキの巨樹

一河内下・田中偉生さん宅一

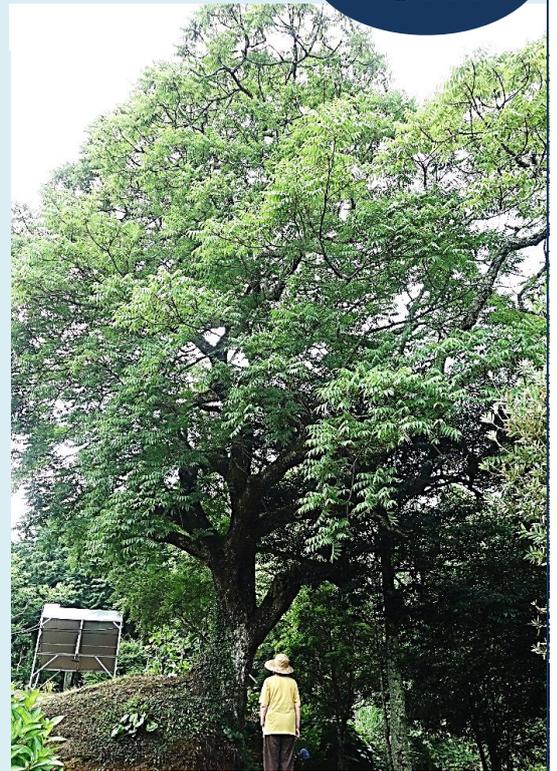
田中家に続く坂道を登っていくと、小山のように日陰をつくっているハゼノキの巨樹が出迎えてくれます。

この木がいつごろ植えられたか定かではありませんが、古来から日本の山に自生するヤマハゼとは異なり、ハゼノキは江戸中期に中国から沖縄を経由して種が持ち込まれ、^{ろう}蠶を採取する目的で、薩摩などで本格的な栽培が始まりました。

津和野藩では、寛永14年（1637）頃から2代目藩主・亀井茲政が家老・多胡主水に命じて^{はぜ}櫨・^{こうぞ}楮・^{うるし}漆・茶などの栽培を奨励。その後代々の藩主がこれらの産業の発展に力を注ぎました。紙漉きは津和野藩の重要な財源であったことは言うまでもありませんが、ハゼノキの実も^{ろう}蠶の原料として栽培を勧めました。高津浜に^{ろう}蠶座を設け、直営工場として生産していた関係で、藩政時代の美濃地方では年間236トンのハゼノキの実を採取していました。その後、ローソクが宗教的な行事以外にはほとんど用いられなくなったことから、徐々に生産されなくなりました（参考文献・益田市誌）。

田中家のハゼノキも、木の大きさからして藩政時代に人為的に植えられたものと思われ、300年以上の樹齢が推定されます。

紅葉の季節になると、葉が真っ赤に色づき、遠くからでもその鮮やかな姿が目を引き、あたりを彩ります



根回り3.5㍍、樹高約9.5㍍、枝張り約12㍍もあるハゼノキの巨木。

涼感誘う風蘭の花

下城九郎・豊田篤夫さん提供

甘い香りと白く清楚な花が暑さを和らげてくれる風蘭。公民館の玄関に涼しさを演出しています。花の芳香が風に乗って昆虫を誘い、花粉を運んでもらうことからこの名が付いたとのこと。江戸時代の豪商が愛好していた花です。

8月の行事予定

1日(火)	親子映写会「南極物語」	13:00~
4日(金)	いきいきクラブ理事会	10:30~
	民話の会「石見」上演	13:30~
8日(火)	夏休み子ども料理教室	9:00~
//	地区社協理事会	19:30~
10日(木)	JAX取り講習会	9:00~
14日(月)	盆踊り大会 物故者追悼	19:30~
19日(土)	二条・美濃人権同和研修	19:00~
21日(月)	公民館実行委員会	19:30~
25日(金)	公民館運営委員会	19:30~
27日(日)	後期河川清掃(基準日)	
31日(木)	結核検診 有田下	9:30~9:40
	いこいの広場	10:00~10:25

今後の主な行事予定

9月17日(日)	ふれあい運動会
23日(土)	敬老会
11月 3日(金)	美濃はつらつ展
// 12日(日)	美濃ふれあいまつり

市長杯ソフトボール大会で
美濃ライジング快挙!
昨年に続き優勝



昨年に続き2度目の優勝を果たした美濃ライジングのメンバー

益田市久々茂町にある久々茂コミュニティ広

8月の診療予定日	
火曜日	木曜日
1日 神崎内科	3日 村野医院
15日 休診	10日 澄川クリニック
	17日 中島クリニック
	24日 林医院
29日 神崎内科	31日 澄川クリニック
診療時間 13:30~	

場で6月18日開催された「第56回益田市市長杯壮年ソフトボール大会」に於いて、美濃地区のソフトボールチーム“美濃ライジング”(西迫健一監督・11人)が見事、昨年に引き続き2度目の優勝を果たしました。

今年参加したのは6チーム。西迫監督によると、勝因は「抜群の打撃力で守備力をカバーした」とのことです。